

平成 26 年 5 月 15 日

日本ガラスびん協会

## News Release

### 日本ガラスびん協会より平成 25 年度の出荷状況をお知らせいたします 19 年振りに前年度実績をクリアしました

日本ガラスびん協会（東京都新宿区／会長 石塚久継）に加盟する、正会員 6 社の平成 25 年度（4 月～3 月）の出荷実績は、重量 1,161,737 トン（前年度比 101.1%）、数量 64 億 4,904 万本（前年度比 100.5%）となり、重量（+12,684 トン）、数量（+3,182 万本）ともに前年度比で微増となりました。尚、前年度比でプラスになったのは 19 年振りのことであります。

消費税増税前の駆け込み需要（3 月：重量比 109.1%、数量比 106.5%）の追い風を受けましたが、昨年 7 月以降、重量、数量共に前年同月比をクリアし、堅調に推移したことから年度実績の上積みにつながりました。

2013 年度を総括しますと「調味料」、「清酒」、「ウイスキー」、「その他洋雑酒」、「飲料」が前年度を上回り、全体数字を牽引しました。

特にワイン、RTD・RTS 商品などの「その他洋雑酒びん」は健康志向、低アルコール志向などの要因により市場のすそ野が拡がり好調に推移しました。「調味料びん」はドレッシング類の需要などもあり堅調に推移しました。飲料・飲料ドリンクびんは「飲料ドリンクびん」のリニューアルを含むドリンク類の増加、「飲料びん」はエネルギー系ドリンクが底堅い需要であったほか、リターンブルびんの投入やサイダー、ラムネ向けの需要もあり好調に推移しました。また、「薬品びん」はここ数年変動要素も少なく安定的な出荷状況で推移しています。

一方、「小びんドリンク」は 100ml 容量が伸び悩み前年度実績を下回りました。

尚、各品種ごとの実績は別紙の資料をご参照下さい。

以上

本件に関するお問合せ先：日本ガラスびん協会 TEL 03-6279-2390